

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター  
センター長 上ノ町 仁

## 新規実施項目のお知らせ

日頃より当臨床検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

この度、委託先の株式会社エスアールエルより新規実施項目の案内がありましたのでお知らせいたします。

今後とも当臨床検査センターをご利用賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 記

■受託開始日 2023 年 4 月 1 日 (土)

### ■新規実施項目内容

検査項目・コード JLAC10	採血量 (mL)	容器	提出 温度	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
MMRV IgG (FIA) 検診 2547000 (5928) 5F800-1431-023-041	採血量 2.0	生化学 茶色 A	室温	3~7	-	FIA	(AI)	本項目は、ワクチン接種のための確認試験専用項目です。
甲状腺刺激抗体 (TSAb) (Bioassay) 2546900 (5915) 5G300-0000-023-905	採血量 2.0	生化学 茶色 A	室温	2~4	340 ※6	Bio assay	110未満 (%)	<b>溶</b> 溶血検体では、測定値が <b>低値</b> となる可能性があります。
TSBAbs(TRAb阻害型) (Bioassay) 2547100 (5933) 5G305-0000-023-905	採血量 2.0	生化学 茶色 A	室温	2~4	-	Bio assay	5ページ 参照	<b>溶</b> 溶血検体では、測定値が <b>高値</b> となる可能性があります。

※6：免疫学的検査判断料

**※別途項目コードのご案内を送付いたします。ご施設様でご利用の電子カルテメーカー様へ対応いただくよう、ご連絡をお願いいたします。**

## ● MMRV IgG (FIA) 検診

麻疹・流行性耳下腺炎・風疹・水痘 (MMRV) ワクチン接種のために有用な検査です。

麻疹(Measles)、流行性耳下腺炎(Mumps)、風疹(Rubella)、水痘・带状疱疹(Varicella-zoster)のウイルスに感染し発症すると、本人の重症化の可能性に加え、周囲への感染源となることから、迅速な対応が求められます。特に医療関係者に関しては、周囲の患者様や医療関係者への感染源となるため、医療業務の安全性の観点から勤務・実習前の予防が必要で、ガイドライン(臨床的意義参考文献)では、罹患歴を確認するための抗体検査の実施や、予防接種の記録・保管が、原則、必要とされています。

MMRVの抗体検査には様々な検査方法がありますが、蛍光免疫測定法(FIA)は他法の抗体価読み替えに関するエビデンスが揃っている検査方法です(検査方法参考文献)。MMRVワクチン接種の要否を判断する際は、本検査をご活用下さい。

### ▼疾患との関連

MMRVワクチン接種

### ▼関連する主な検査項目

麻疹ウイルスIgG (EIA) 検診、ムンプスウイルスIgG (EIA) 検診、  
風疹ウイルスIgG (EIA) 検診、風疹ウイルス (HI) 検診  
水痘・带状疱疹IgG (EIA) 検診

### ▼検査要項

検査項目名	MMRV IgG (FIA) 検診
項目コード	親：2547000(5928) MMRV IgG (FIA) 検診 子1：2547001(5929) 麻疹ウイルスIgG FIA 子2：2547002(5930) ムンプスウイルスIgG FIA 子3：2547003(5931) 風疹ウイルスIgG FIA 子4：2547004(5932) 水痘・带状疱疹ウイルスIgG FIA
検体量	採血量 2.0mL (血清 0.6 mL)
容器	生化学 茶色 A
所要日数	3~7日
検査方法	FIA
基準値(単位)	(AI)
報告範囲(単位)	子1~4：0.2未満、0.2~8.0、8.1以上 (AI)
桁数	有効2桁、整数1桁、小数1桁
検査実施料	設定なし
判断料	設定なし
備考	

### ●留意事項

本項目は、ワクチン接種のための確認試験専用項目です。

基準値の詳細はメーカー資料(別添)をご確認ください。なお、(AI)はメーカーが設定した抗体価単位です。

### ●参考文献

菅 秀：医学と薬学 76 (12)：1791~1798, 2019. (検査方法参考文献)

日本環境感染学会：医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版：2020. (臨床的意義参考文献)

## ● 甲状腺刺激抗体（TSAb）

甲状腺機能亢進症を示すバセドウ病の診断、破壊性甲状腺機能亢進症（無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎）との鑑別診断に有用です。

甲状腺機能亢進症におけるバセドウ病はTSH受容体抗体（TRAb）によって発症します。TSH受容体抗体には刺激型と阻害型の2種類があり、このうち刺激型はTSH受容体に対してアゴニストとして作用し、甲状腺細胞膜中のadenylate cyclase活性を刺激し、甲状腺内のサイクリックAMP（cAMP）産生を増加させるバセドウ病の原因物質と考えられます。甲状腺機能亢進症を示すバセドウ病の診断、破壊性甲状腺機能亢進症（無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎）との鑑別診断に有用です。

### ▼疾患との関連

バセドウ病

### ▼関連する主な検査項目

TSHレセプター抗体（定量）、  
TSBAb（TSHレセプター抗体[阻害型]）  
TSHレセプター抗体〔CLEIA〕

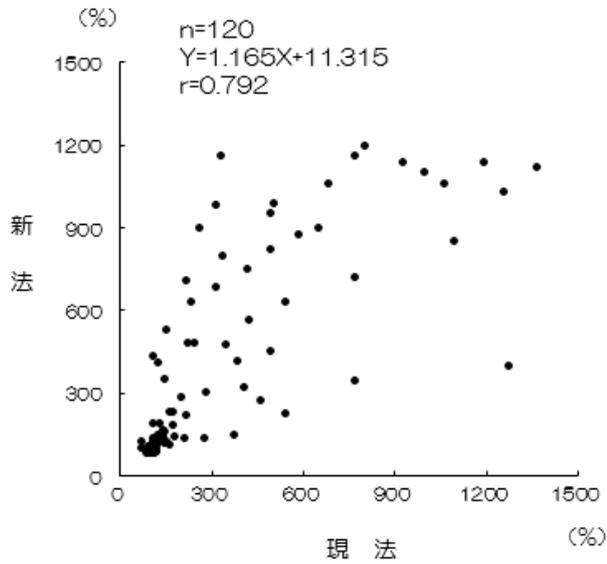
### ▼検査要項（現法との比較）

	新	現
検査項目名	甲状腺刺激抗体（TSAb）	TSH刺激性レセプター抗体（TSAb）
項目コード	2546900 (5915)	1777500 (7775)
検査方法	Bioassay	Bioassay EIA
基準値（単位）	110未満（%）	120以下（%）
報告範囲	92未満、92～99900000	0～99999999
桁数	有効3、整数8、小数0	有効8、整数8、小数0
検体量	採血量 2.0mL（血清 0.3mL）	採血量 3.0mL（血清 0.8mL）
容器	変更はありません	生化学 茶色 A
所要日数	2～4日	3～5日
参考文献	1. 測定法：田上 哲也，他：糖尿病・内分泌 代 謝科 53（5）：479～486，2021. 2. 臨床意義：上條 桂一，他：医学と薬学 79 （9）：1199～1207，2022.	1. 測定法：上條 桂一，他：医学と薬学 71 （5）：903～911，2014. 2. 臨床意義：上條 桂一，他：医学と薬学 71 （5）：903～911，2014.
検査実施料	変更はありません	340点 （「D014」自己抗体検査「38」）
判断料	変更はありません	144点（免疫学的検査判断料）
備考	<b>溶</b> 溶血でのご依頼は避けてください。（溶血検 体では、測定値が低値となる可能性がありま す。）	

●相関図

区分	検査方法
新法	Bioassay
現法	Bioassay EIA

甲状腺刺激抗体 (TSAb)  
TSH刺激性レセプター抗体 (TSAb)



相関一致表

		現法	
		陰性	陽性
新法	陰性	50	0
	陽性	8	62

一致率: 93.3% (n=120)

● TSBAb(TRAAb阻害型) (Bioassay)

原発性粘液水腫(萎縮性甲状腺炎)の患者やバセドウ病の治療経過中に甲状腺機能低下症となった患者に検出されます。

TSBAbはTSH受容体に作用し生理的濃度のTSHの作用を抑制し、甲状腺機能低下症の発現に重要な役割を果たしているものと考えられています。このTSBAbは甲状腺腫の腫れない原発性粘液水腫(萎縮性甲状腺炎)の患者やバセドウ病の治療経過中に甲状腺機能低下症となった患者に検出されることが報告されています。

▼疾患との関連

特発性粘液水腫、甲状腺機能低下症

▼関連する主な検査項目

TSHレセプター抗体(定量)、甲状腺刺激抗体(TSAb)

▼検査要項

	新	現
検査項目名	TSBAb(TRAAb阻害型) (Bioassay)	TSBAb (TSHレセプター抗体[阻害型])
項目コード	親: 2547100(5933) TSBAb(TRAAb阻害型) (Bioassay) 子1: 2547101(5934) TSBAb 子2: 2547102(5935) SI 子3: 2547103(5936) BI	1777600 (7776)
検体量	採血量 2.0mL (血清 0.3 mL)	採血量 3.0mL (血清 1.2mL)
容器	変更はありません	生化学 茶色 A
所要日数	2~4 日	3~5日
検査方法	Bioassay	Bioassay EIA
基準値 (単位)	下記参照	血清 31.7以下 (%)
報告範囲 (単位)	TSBAb: 0.0~100 (%) SI: NB値により異なる、***~99900000 (なし) BI: SI値により異なる、***~99900000 (なし)	0.0~99900000 (%)
桁数	TSBAb: 有効3桁、整数3桁、小数1桁 SI: 有効3桁、整数8桁、小数1桁 BI: 有効3桁、整数8桁、小数1桁	有効3桁、整数8桁、小数1桁
検査実施料	設定なし	設定なし
判断料	設定なし	設定なし
備考	<b>溶</b> 溶血でのご依頼は避けてください。(溶血検体では、測定値が高値となる可能性があります。)	

[OQ81 3] : TSBAb (TSHレセプター抗体[阻害型]) [Bioassay] (参考基準値)

名称	指標内容	参考基準値(単位)
TSBAb	TSHレセプター抗体(阻害型)	13.1未満 (%)
SI (Stimulation Index)	甲状腺刺激ホルモン受容体 (TSHR) への刺激活性の指標	設定なし
BI (Blocking Index)	刺激活性を排除したTSBAb阻害活性の指標	8.0未満(単位なし)

参考基準値につき、報告書への記載はありません。

●参考文献

保科 元気, 他: 医学と薬学 80 (1) : 101~113, 2023. (検査方法参考文献)